

エゾカフェ店主敬白

VOL.12 2010/9/10

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、『エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる』ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

EZO シカ焼却施設

いつも、ご来店そして、エゾシカを食べていただき大変ありがとうございます。美味しく食べてもらって、きっとエゾシカたちも喜んでいるでしょう。

ところが、世の中には浮かばれないエゾシカもたくさんいるのです。9月1日付けの北海道新聞に、北海道の浦河町で、エゾシカ専用の焼却施設を建設するって記事が出ていました。えっっっ！?と思っ



て、関係していそうなところに聞いてみたら、やっぱり真実でした。2500万円の借金をして、焼却施設を作って、年間300万ぐらいのランニングコストを負担するそうです。

そのお金で、食肉解体施設を作ったほうが、よっぽどいいんじゃない??と思うわけです。

なぜ、そんなことになったの？

分かりやすく言うと、処理場を作っても採算が取れず、より大きな赤字を出してきた歴史があるんです。ある意味、今回の焼却施設は、その時のことを反省し、シカを目の前から完全に消してしまうという安全策として採用されたんでしょう。

今でも、エゾシカの処理場は結構困っています。だいぶ長く経験を積んで、美味しい肉を作れるようにはなってきました。だけど、まだ駄目なんです。たぶん、マーケティングと戦略がいまいちないんですね。

ちなみに、弊社(クイージね。エゾシカカフェはクイージの提供でお送りしております。)は、そのマーケティングと戦略を持って、エゾシカを何とかしたいなと思っています。まず、旨いってことを分かってもらいたくて、エゾシカカフェをやってみたりしてね。。

エゾシカカフェに来てくれている皆さんは、~~テストマーケティングの餌食~~、大事なお客様です。こうしたら良いのではとか、アイデアなんでも大募集です。ぜひともよろしくお願いします。

